平成 28 年度 病院事業決算状況

都道府県名 長野県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	長野県立病院機構	2
長野市	長野市民病院	3
松本市	松本市国民健康保険会田病院	4
松本市	松本市立病院	5
上田市	上田市立産婦人科病院	6
岡谷市	岡谷市民病院	7
飯田市	飯田市立病院	8
大町市	大町総合病院	9
佐久市	国保浅間総合病院	10
東御市	東御市民病院	11
佐久穂町	佐久穂町立千曲病院	12
軽井沢町	国保軽井沢病院	13
辰野町	辰野病院	14
信濃町	信越病院	15
飯綱町	飯綱町立飯綱病院	16
伊那中央行政組合（事業 会計分）	伊那中央病院	17
伊南行政組合	昭和伊南総合病院	18
諏訪中央病院組合	組合立諏訪中央病院	19
	依田窪医療福祉事務組合 国保依田窪病院	20

病院事業決算状況 (28年度)		都道府県名	長野県
		市町村・組合名	
		病院名	長野県立病院機構
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,098,804	
決算規模(千円)	808,266,566	
標準財政規模(千円)	514,141,339	
財政力指数	0.49610	
経常収支比率(%)	95.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	171.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	426,298			
1 経常収益	426,298			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	426,298			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	426,298			
2 経常費用	426,298			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.1	50.8
材料費	-	-	23.9	27.3
(うち薬品費)	-	-	12.5	14.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	12.6
減価償却費	-	-	9.3	8.6
経費	-	-	23.1	20.7
(うち委託料)	-	-	11.1	11.4
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	426,298			
(うち支払利息)	426,298	-	1.8	1.6
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	15,640,062			
経常収支比率	100.0		97.9	99.3
医業収支比率	-		88.4	92.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.4
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	10.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	9.3
実質収益対経常費用比率	100.0		85.8	90.0

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	長野市
	病院名	長野市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	-	-	83.7	87.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	83.7	87.0
平均在院日数(一般病床のみ)		-	11.0	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	377,598	
決算規模(千円)	147,714,759	
標準財政規模(千円)	86,592,996	
財政力指数	0.72	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.1
	将来負担比率(%)	33.8

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	305,033			
1 経常収益	305,033			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	305,033			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	305,033			
2 経常費用	305,033			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.1	55.3
材料費	-	-	23.9	25.4
(うち薬品費)	-	-	12.5	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	10.9	12.0
減価償却費	-	-	9.3	8.9
経費	-	-	23.1	19.4
(うち委託料)	-	-	11.1	9.2
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	305,033			
(うち支払利息)	305,033	-	1.8	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.9	98.4
医業収支比率	-		88.4	91.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	10.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.4	11.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	10.5
実質収益対経常費用比率	100.0		85.8	88.2

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	松本市
				病院名	松本市国民健康保険会田病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	1,636 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	3	看護配置	その他		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	11	56.6	71.3	39.0
療養	20	64.2	76.5	82.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	31	61.5	74.7	66.9
平均在院日数（一般病床のみ）		25.0	27.6	28.5

設立団体の状況		
人口（人）	243,293	
決算規模（千円）	90,128,796	
標準財政規模（千円）	57,475,414	
財政力指数	0.72	
経常収支比率（%）	84.4	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	4.7
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	59.9
修正医業収支金額（千円）	244,309

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	411,146			
1 経常収益	411,146			
(1) 医業収益	300,581			
入院収益	94,889			
外来収益	131,405			
診療収入計	226,294			
その他医業収益	74,287			
(うち他会計負担金)	56,272			
(2) 医業外収益	110,565			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	106,822			
(うち長期前受金戻入)	3,214			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	417,638			
2 経常費用	417,638			
(1) 医業費用	407,545			
職員給与費	152,494	50.7	56.1	77.1
材料費	95,870	31.9	23.9	16.7
(うち薬品費)	78,831	26.2	12.5	10.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	11,606	3.9	10.9	5.1
減価償却費	10,422	3.5	9.3	12.8
経費	148,650	49.5	23.1	40.7
(うち委託料)	7,594	2.5	11.1	16.6
研究研修費	109			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	10,093			
(うち支払利息)	5	-	1.8	1.8
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-6,492			
純損益	-6,492			
累積欠損金	24,354			
経常収支比率	98.4		97.9	96.9
医業収支比率	73.8		88.4	67.1
他会計繰入金対経常収益比率	39.7		12.3	32.4
他会計繰入金対医業収益比率	54.3		14.4	49.6
他会計繰入金対総収益比率	39.7		12.4	32.2
実質収益対経常費用比率	59.4		85.8	65.5

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	6,124,831
1 固定資産	4,132,695
(1) 有形固定資産	4,123,532
(2) 無形固定資産	93
(3) 投資その他の資産	9,070
2 流動資産	1,992,136
(1) 現金及び預金	1,513,724
(2) 未収金及び未収収益	462,619
(3) 貸倒引当金（ ）	2,040
(4) 貯蔵品	17,833
3 繰延資産	-
負債合計	5,154,799
1 固定負債	3,356,034
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,246,426
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,109,608
(7) リース債務	-
2 流動負債	890,087
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	288,982
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	210,017
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	389,791
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	908,678
(1) 長期前受金	1,260,245
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	351,567
資本合計	970,032
1 資本金	1,263,614
2 剰余金	-293,582
(1) 資本剰余金	11,571
(2) 利益剰余金	-305,153
負債・資本合計	6,124,831
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	82,617	163,094
資本勘定繰入	360	-
計	82,977	163,094

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	13.8
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	松本市
	病院名	松本市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	17,999 m ²	指定病院の状況	救臨感へ輪
診療科数	27	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	209	70.2	72.2	67.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	215	68.3	70.2	65.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.1	13.5	13.0

設立団体の状況		
人口(人)	243,293	
決算規模(千円)	90,128,796	
標準財政規模(千円)	57,475,414	
財政力指数	0.72	
経常収支比率(%)	84.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,255,395			
1 経常収益	4,255,180			
(1) 医業収益	3,889,019			
入院収益	2,160,995			
外来収益	1,245,752			
診療収入計	3,406,747			
その他医業収益	482,272			
(うち他会計負担金)	61,364			
(2) 医業外収益	366,161			
(うち国・都道府県補助金)	9,128			
(うち他会計補助・負担金)	242,053			
(うち長期前受金戻入)	26,018			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	215			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,509,666			
2 経常費用	4,507,352			
(1) 医業費用	4,353,455			
職員給与費	2,383,761	61.3	56.1	59.8
材料費	648,970	16.7	23.9	19.6
(うち薬品費)	356,832	9.2	12.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	258,909	6.7	10.9	9.1
減価償却費	209,673	5.4	9.3	9.9
経費	1,082,391	27.8	23.1	27.5
(うち委託料)	277,166	7.1	11.1	11.8
研究研修費	21,736			
資産減耗費	6,924			
(2) 医業外費用	153,897			
(うち支払利息)	42,682	1.1	1.8	1.9
(3) 特別損失	2,314			
損益				
経常損益	-252,172			
純損益	-254,271			
累積欠損金	554,389			
経常収支比率	94.4		97.9	95.3
医業収支比率	89.3		88.4	85.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.1		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.8		14.4	15.9
他会計繰入金対総収益比率	7.1		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	87.7		85.8	82.6

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,124,831
1 固定資産	4,132,695
(1) 有形固定資産	4,123,532
(2) 無形固定資産	93
(3) 投資その他の資産	9,070
2 流動資産	1,992,136
(1) 現金及び預金	1,513,724
(2) 未収金及び未収収益	462,619
(3) 貸倒引当金()	2,040
(4) 貯蔵品	17,833
3 繰延資産	-
負債合計	5,154,799
1 固定負債	3,356,034
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,246,426
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,109,608
(7) リース債務	-
2 流動負債	890,087
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	288,982
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	210,017
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	389,791
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	908,678
(1) 長期前受金	1,260,245
(2) 長期前受金収益化累計額()	351,567
資本合計	970,032
1 資本金	1,263,614
2 剰余金	-293,582
(1) 資本剰余金	11,571
(2) 利益剰余金	-305,153
負債・資本合計	6,124,831
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.9
修正医業収支金額(千円)	3,827,655

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	497,800	303,417
資本勘定繰入	144,532	82,700
計	642,332	386,117

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	上田市
				病院名	上田市立産婦人科病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	未		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,033 m ²	指定病院の状況			
診療科数	1	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	27	61.5	68.1	63.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	27	61.5	68.1	63.1
平均在院日数（一般病床のみ）		5.4	6.4	5.8

設立団体の状況		
人口（人）	156,827	
決算規模（千円）	69,340,065	
標準財政規模（千円）	39,768,341	
財政力指数	0.60	
経常収支比率（%）	89.1	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	4.7
	将来負担比率（%）	42.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	72.5
修正医業収支金額（千円）	421,732

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	615,231			
1 経常収益	564,031			
（1）医業収益	421,732			
入院収益	301,527			
外来収益	95,004			
診療収入計	396,531			
その他医業収益	25,201			
（うち他会計負担金）	-			
（2）医業外収益	142,299			
（うち国・都道府県補助金）	1,566			
（うち他会計補助・負担金）	80,963			
（うち長期前受金戻入）	51,597			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	51,200			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	595,910			
2 経常費用	595,910			
（1）医業費用	581,915			
職員給与費	271,312	64.3	56.1	77.1
材料費	33,204	7.9	23.9	16.7
（うち薬品費）	7,178	1.7	12.5	10.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	20,674	4.9	10.9	5.1
減価償却費	59,548	14.1	9.3	12.8
経費	192,044	45.5	23.1	40.7
（うち委託料）	43,338	10.3	11.1	16.6
研究研修費	1,068			
資産減耗費	24,739			
（2）医業外費用	13,995			
（うち支払利息）	5,292	1.3	1.8	1.8
（3）特別損失	-			
損益				
経常損益	-31,879			
純損益	19,321			
累積欠損金	-			
経常収支比率	94.7		97.9	96.9
医業収支比率	72.5		88.4	67.1
他会計繰入金対経常収益比率	14.4		12.3	32.4
他会計繰入金対医業収益比率	19.2		14.4	49.6
他会計繰入金対総収益比率	13.2		12.4	32.2
実質収益対経常費用比率	81.1		85.8	65.5

備考：「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,348,280
1 固定資産	1,042,311
（1）有形固定資産	1,042,239
（2）無形固定資産	72
（3）投資その他の資産	-
2 流動資産	305,969
（1）現金及び預金	254,020
（2）未収金及び未収収益	50,764
（3）貸倒引当金（ ）	54
（4）貯蔵品	1,239
3 繰延資産	-
負債合計	1,013,578
1 固定負債	228,343
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	216,921
（2）その他の企業債	-
（3）再建債（特例債含む）	-
（4）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（5）その他の長期借入金	-
（6）引当金	11,422
（7）リース債務	-
2 流動負債	60,730
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,943
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	18,072
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	25,715
（9）前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	724,505
（1）長期前受金	978,483
（2）長期前受金収益化累計額（ ）	253,978
資本合計	334,702
1 資本金	123,164
2 剰余金	211,538
（1）資本金剰余金	66,076
（2）利益剰余金	145,462
負債・資本合計	1,348,280
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	6,044	80,963
資本勘定繰入	167,577	317,577
計	173,621	398,540

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	岡谷市
	病院名	岡谷市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	24,157 m ²	指定病院の状況	救臨感 輪
診療科数	26	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	266	83.6	78.0	76.3
療養	25	85.1	66.4	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	22.9	22.6	17.7
計	295	82.9	76.0	75.4
平均在院日数(一般病床のみ)		19.1	19.2	19.2

設立団体の状況		
人口(人)	50,128	
決算規模(千円)	20,499,961	
標準財政規模(千円)	11,827,424	
財政力指数	0.64	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	131.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.3
修正医業収支金額(千円)	5,978,193

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,981,234			
1 経常収益	6,901,845			
(1) 医業収益	6,111,121			
入院収益	3,727,618			
外来収益	1,824,756			
診療収入計	5,552,374			
その他医業収益	558,747			
(うち他会計負担金)	132,928			
(2) 医業外収益	790,724			
(うち国・都道府県補助金)	8,357			
(うち他会計補助・負担金)	324,569			
(うち長期前受金戻入)	354,714			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	79,389			
(うち他会計繰入金)	79,061			
総費用	6,841,231			
2 経常費用	6,794,438			
(1) 医業費用	6,478,288			
職員給与費	3,957,445	64.8	56.1	59.8
材料費	1,130,970	18.5	23.9	19.6
(うち薬品費)	638,720	10.5	12.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	437,126	7.2	10.9	9.1
減価償却費	592,744	9.7	9.3	9.9
経費	780,999	12.8	23.1	27.5
(うち委託料)	434,843	7.1	11.1	11.8
研究研修費	12,082			
資産減耗費	4,048			
(2) 医業外費用	316,150			
(うち支払利息)	44,614	0.7	1.8	1.9
(3) 特別損失	46,793			
損益				
経常損益	107,407			
純損益	140,003			
累積欠損金	2,477,556			
経常収支比率	101.6		97.9	95.3
医業収支比率	94.3		88.4	85.1
他会計繰入金対経常収益比率	6.6		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.5		14.4	15.9
他会計繰入金対総収益比率	7.7		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	94.8		85.8	82.6

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,147,186
1 固定資産	11,748,182
(1) 有形固定資産	11,201,315
(2) 無形固定資産	3,666
(3) 投資その他の資産	543,201
2 流動資産	1,394,430
(1) 現金及び預金	384,194
(2) 未収金及び未収収益	981,185
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	27,950
3 繰延資産	4,574
負債合計	14,367,706
1 固定負債	10,330,910
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,241,559
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,084,296
(7) リース債務	5,055
2 流動負債	1,023,608
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	423,377
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	227,254
(6) リース債務	3,785
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	335,908
(9) 前受金及び前受収益	12
3 繰延収益	3,013,188
(1) 長期前受金	3,808,468
(2) 長期前受金収益化累計額()	795,280
資本合計	-1,220,520
1 資本金	1,226,920
2 剰余金	-2,447,440
(1) 資本金剰余金	30,116
(2) 利益剰余金	-2,477,556
負債・資本合計	13,147,186
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	1,220,520
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	716,888	536,558
資本勘定繰入	231,189	195,500
計	948,077	732,058

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	40.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	飯田市
	病院名	飯田市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	36,345 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪
診療科数	32	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	419	81.4	80.0	81.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	423	80.6	79.3	80.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.6	10.9	11.1

設立団体の状況		
人口(人)	101,581	
決算規模(千円)	44,679,117	
標準財政規模(千円)	27,368,904	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	11.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.0
修正医業収支金額(千円)	10,956,319

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,075,295			
1 経常収益	12,075,295			
(1) 医業収益	11,194,700			
入院収益	7,679,920			
外来収益	2,794,832			
診療収入計	10,474,752			
その他医業収益	719,948			
(うち他会計負担金)	238,381			
(2) 医業外収益	880,595			
(うち国・都道府県補助金)	48,219			
(うち他会計補助・負担金)	558,688			
(うち長期前受金戻入)	64,010			
(うち資本費繰入収益)	148,538			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,238,567			
2 経常費用	12,238,567			
(1) 医業費用	11,775,587			
職員給与費	6,486,429	57.9	56.1	55.3
材料費	2,447,608	21.9	23.9	25.4
(うち薬品費)	1,048,007	9.4	12.5	12.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,322,271	11.8	10.9	12.0
減価償却費	836,386	7.5	9.3	8.9
経費	1,915,052	17.1	23.1	19.4
(うち委託料)	808,716	7.2	11.1	9.2
研究研修費	40,906			
資産減耗費	49,206			
(2) 医業外費用	462,980			
(うち支払利息)	87,227	0.8	1.8	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-163,272			
純損益	-163,272			
累積欠損金	163,272			
経常収支比率	98.7		97.9	98.4
医業収支比率	95.1		88.4	91.3
他会計繰入金対経常収益比率	6.6		12.3	10.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.1		14.4	11.7
他会計繰入金対総収益比率	6.6		12.4	10.5
実質収益対経常費用比率	92.2		85.8	88.2

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,389,014
1 固定資産	15,313,032
(1) 有形固定資産	14,923,731
(2) 無形固定資産	71,226
(3) 投資その他の資産	318,075
2 流動資産	6,075,982
(1) 現金及び預金	4,194,054
(2) 未収金及び未収収益	1,839,810
(3) 貸倒引当金()	1,920
(4) 貯蔵品	44,038
3 繰延資産	-
負債合計	12,970,974
1 固定負債	9,642,302
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,090,088
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,603,220
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,948,994
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,819,169
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,375,781
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	407,852
(6) リース債務	877
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,030,989
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	509,503
(1) 長期前受金	908,653
(2) 長期前受金収益化累計額()	399,150
資本合計	8,418,040
1 資本金	8,562,687
2 剰余金	-144,647
(1) 資本金剰余金	18,625
(2) 利益剰余金	-163,272
負債・資本合計	21,389,014
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	797,069	797,069
資本勘定繰入	686,337	518,431
計	1,483,406	1,315,500

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	大田市
	病院名	大町総合病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	212	58.7	50.8	55.2
療養	62	76.2	84.5	87.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	278	61.8	57.3	60.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	13.8	14.6

設立団体の状況		
人口(人)	28,041	
決算規模(千円)	17,502,831	
標準財政規模(千円)	10,669,723	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	88.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	61.8

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	19,380 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 輪
診療科数	12	看護配置	7:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.7
修正医業収支金額(千円)	3,804,505

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,457,257			
1 経常収益	4,456,181			
(1) 医業収益	3,894,972			
入院収益	2,290,763			
外来収益	1,111,405			
診療収入計	3,402,168			
その他医業収益	492,804			
(うち他会計負担金)	90,467			
(2) 医業外収益	561,209			
(うち国・都道府県補助金)	24,666			
(うち他会計補助・負担金)	280,254			
(うち長期前受金戻入)	232,988			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,076			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,948,738			
2 経常費用	4,932,147			
(1) 医業費用	4,715,329			
職員給与費	2,753,740	70.7	56.1	59.8
材料費	579,423	14.9	23.9	19.6
(うち薬品費)	287,714	7.4	12.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	253,863	6.5	10.9	9.1
減価償却費	380,361	9.8	9.3	9.9
経費	938,767	24.1	23.1	27.5
(うち委託料)	340,240	8.7	11.1	11.8
研究研修費	56,268			
資産減耗費	6,770			
(2) 医業外費用	216,818			
(うち支払利息)	105,625	2.7	1.8	1.9
(3) 特別損失	16,591			
損益				
経常損益	-475,966			
純損益	-491,481			
累積欠損金	1,575,068			
経常収支比率	90.3		97.9	95.3
医業収支比率	82.6		88.4	85.1
他会計繰入金対経常収益比率	8.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	9.5		14.4	15.9
他会計繰入金対総収益比率	8.3		12.4	13.7
実質収益対経常費用比率	82.8		85.8	82.6

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,580,556
1 固定資産	6,604,597
(1) 有形固定資産	5,888,491
(2) 無形固定資産	200,612
(3) 投資その他の資産	515,494
2 流動資産	975,959
(1) 現金及び預金	226,638
(2) 未収金及び未収収益	734,861
(3) 貸倒引当金()	1,716
(4) 貯蔵品	16,148
3 繰延資産	-
負債合計	8,039,711
1 固定負債	4,541,756
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,785,360
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	320,000
(6) 引当金	426,496
(7) リース債務	9,900
2 流動負債	2,199,575
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	641,745
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	137,941
(6) リース債務	3,486
(7) 一時借入金	1,000,000
(8) 未払金及び未払費用	393,455
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,298,380
(1) 長期前受金	4,252,507
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,954,127
資本合計	-459,155
1 資本金	437,891
2 剰余金	-897,046
(1) 資本金剰余金	678,022
(2) 利益剰余金	-1,575,068
負債・資本合計	7,580,556
不良債務	581,871
実質資金不足額	577,471
資金不足額()	459,155
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	664,069	370,721
資本勘定繰入	322,249	579,028
計	986,318	949,749

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	581,871	14.9
27年度	374,979	10.2
26年度	171,100	4.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	40.4
健全化法上の資金不足額(千円)	434,328
健全化法上の資金不足比率(%)	11.1
地財法上の資金不足額(千円)	434,328
地財法上の資金不足比率(%)	11.1

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	佐久市
				病院名	国保浅間総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,923 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	17	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	243	83.2	82.1	81.4
療養	80	33.6	40.4	56.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	323	70.9	71.8	75.1
平均在院日数（一般病床のみ）		12.9	12.9	12.2

設立団体の状況		
人口（人）	99,368	
決算規模（千円）	49,774,113	
標準財政規模（千円）	27,850,994	
財政力指数	0.51	
経常収支比率（%）	82.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	-
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	90.5
修正医業収支金額（千円）	6,105,474

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,284,855			
1 経常収益	7,284,182			
(1) 医業収益	6,336,408			
入院収益	3,882,464			
外来収益	1,831,084			
診療収入計	5,713,548			
その他医業収益	622,860			
(うち他会計負担金)	230,934			
(2) 医業外収益	947,774			
(うち国・都道府県補助金)	13,729			
(うち他会計補助・負担金)	505,958			
(うち長期前受金戻入)	220,986			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	673			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,166,105			
2 経常費用	7,159,190			
(1) 医業費用	6,745,015			
職員給与費	4,115,589	65.0	56.1	56.5
材料費	1,007,108	15.9	23.9	24.1
(うち薬品費)	365,408	5.8	12.5	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	634,707	10.0	10.9	11.4
減価償却費	486,878	7.7	9.3	9.1
経費	1,100,170	17.4	23.1	21.6
(うち委託料)	525,024	8.3	11.1	10.6
研究研修費	16,341			
資産減耗費	18,929			
(2) 医業外費用	414,175			
(うち支払利息)	67,460	1.1	1.8	2.0
(3) 特別損失	6,915			
損益				
経常損益	124,992			
純損益	118,750			
累積欠損金	954,149			
経常収支比率	101.7		97.9	96.7
医業収支比率	93.9		88.4	89.3
他会計繰入金対経常収益比率	10.1		12.3	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	11.6		14.4	12.6
他会計繰入金対総収益比率	10.1		12.4	11.0
実質収益対経常費用比率	91.5		85.8	86.1

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	11,601,962
1 固定資産	8,935,058
(1) 有形固定資産	8,921,964
(2) 無形固定資産	2,594
(3) 投資その他の資産	10,500
2 流動資産	2,666,904
(1) 現金及び預金	1,426,809
(2) 未収金及び未収収益	1,219,048
(3) 貸倒引当金（ ）	1,939
(4) 貯蔵品	17,161
3 繰延資産	-
負債合計	11,304,566
1 固定負債	8,251,352
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,813,103
(2) その他の企業債	15,084
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,218,423
(7) リース債務	204,742
2 流動負債	1,227,066
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	367,912
(2) その他の企業債	907
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	207,497
(6) リース債務	155,276
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	463,060
(9) 前受金及び前受収益	1,320
3 繰延収益	1,826,148
(1) 長期前受金	4,641,590
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	2,815,442
資本合計	297,396
1 資本金	1,137,104
2 剰余金	-839,708
(1) 資本剰余金	114,441
(2) 利益剰余金	-954,149
負債・資本合計	11,601,962
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	591,046	736,892
資本勘定繰入	307,679	130,296
計	898,725	867,188

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	15.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	東御市
	病院名	東御市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	60	74.0	64.5	76.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	74.0	64.5	76.4
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	11.2	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	30,107	
決算規模(千円)	15,434,830	
標準財政規模(千円)	8,966,910	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	89.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	54.4

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	6,858 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	12	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.1
修正医業収支金額(千円)	1,391,891

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,896,542			
1 経常収益	1,896,542			
(1) 医業収益	1,430,232			
入院収益	505,592			
外来収益	675,289			
診療収入計	1,180,881			
その他医業収益	249,351			
(うち他会計負担金)	38,341			
(2) 医業外収益	466,310			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	408,735			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	45,897			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,850,317			
2 経常費用	1,850,317			
(1) 医業費用	1,782,369			
職員給与費	1,041,828	72.8	56.1	68.5
材料費	212,539	14.9	23.9	17.7
(うち薬品費)	114,887	8.0	12.5	11.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	86,722	6.1	10.9	5.7
減価償却費	170,698	11.9	9.3	12.1
経費	352,397	24.6	23.1	32.0
(うち委託料)	200,713	14.0	11.1	12.2
研究研修費	3,884			
資産減耗費	1,023			
(2) 医業外費用	67,948			
(うち支払利息)	21,523	1.5	1.8	2.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	46,225			
純損益	46,225			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.5		97.9	98.1
医業収支比率	80.2		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	23.6		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	31.3		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	23.6		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	78.3		85.8	75.4

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,886,931
1 固定資産	2,577,513
(1) 有形固定資産	2,577,242
(2) 無形固定資産	271
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	309,418
(1) 現金及び預金	44,075
(2) 未収金及び未収収益	197,768
(3) 貸倒引当金()	839
(4) 貯蔵品	27,891
3 繰延資産	-
負債合計	1,914,963
1 固定負債	1,500,228
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,500,228
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	413,115
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	151,446
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	53,619
(6) リース債務	285
(7) 一時借入金	30,000
(8) 未払金及び未払費用	177,765
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,620
(1) 長期前受金	1,620
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	971,968
1 資本金	925,743
2 剰余金	46,225
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	46,225
負債・資本合計	2,886,931
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	160,195	447,076
資本勘定繰入	45,897	47,517
計	206,092	494,593

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	佐久穂町
	病院名	佐久穂町立千曲病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	52	83.5	85.7	82.5
療養	45	93.2	82.8	86.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	97	88.0	84.4	84.2
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	11.8	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	11,186	
決算規模(千円)	8,061,126	
標準財政規模(千円)	5,737,990	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	84.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	-

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,183 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	14	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.5
修正医業収支金額(千円)	1,386,424

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,625,215			
1 経常収益	1,625,209			
(1) 医業収益	1,402,602			
入院収益	758,684			
外来収益	509,819			
診療収入計	1,268,503			
その他医業収益	134,099			
(うち他会計負担金)	16,178			
(2) 医業外収益	222,607			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	137,270			
(うち長期前受金戻入)	81,624			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,744,120			
2 経常費用	1,720,835			
(1) 医業費用	1,659,908			
職員給与費	941,008	67.1	56.1	68.5
材料費	261,765	18.7	23.9	17.7
(うち薬品費)	197,013	14.0	12.5	11.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	46,669	3.3	10.9	5.7
減価償却費	178,170	12.7	9.3	12.1
経費	273,897	19.5	23.1	32.0
(うち委託料)	112,329	8.0	11.1	12.2
研究研修費	3,819			
資産減耗費	1,249			
(2) 医業外費用	60,927			
(うち支払利息)	6,969	0.5	1.8	2.3
(3) 特別損失	23,285			
損益				
経常損益	-95,626			
純損益	-118,905			
累積欠損金	181,700			
経常収支比率	94.4		97.9	98.1
医業収支比率	84.5		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.4		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	10.9		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	9.4		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	85.5		85.8	75.4

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,679,304
1 固定資産	2,346,414
(1) 有形固定資産	2,242,067
(2) 無形固定資産	961
(3) 投資その他の資産	103,386
2 流動資産	332,890
(1) 現金及び預金	113,247
(2) 未収金及び未収収益	209,461
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	10,182
3 繰延資産	-
負債合計	2,222,709
1 固定負債	1,818,576
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,525,862
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	292,714
(7) リース債務	-
2 流動負債	310,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	179,812
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	51,070
(6) リース債務	282
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	72,874
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	93,912
(1) 長期前受金	252,236
(2) 長期前受金収益化累計額()	158,324
資本合計	456,595
1 資本金	638,186
2 剰余金	-181,591
(1) 資本剰余金	109
(2) 利益剰余金	-181,700
負債・資本合計	2,679,304
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	153,448	153,448
資本勘定繰入	87,880	87,880
計	241,328	241,328

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	軽井沢町
				病院名	国保軽井沢病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,442 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	15	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	79	74.7	75.4	75.9
療養	24	73.6	71.0	75.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	103	74.4	74.3	75.8
平均在院日数（一般病床のみ）		12.2	12.8	13.9

設立団体の状況		
人口（人）	18,994	
決算規模（千円）	13,430,829	
標準財政規模（千円）	8,675,798	
財政力指数	1.52	
経常収支比率（%）	62.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	0.3
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	66.0
修正医業収支金額（千円）	1,551,500

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,313,414			
1 経常収益	2,313,414			
(1) 医業収益	1,828,500			
入院収益	811,178			
外来収益	625,757			
診療収入計	1,436,935			
その他医業収益	391,565			
(うち他会計負担金)	277,000			
(2) 医業外収益	484,914			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	373,000			
(うち長期前受金戻入)	42,675			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,393,198			
2 経常費用	2,393,198			
(1) 医業費用	2,349,803			
職員給与費	1,005,447	55.0	56.1	60.1
材料費	323,132	17.7	23.9	18.1
(うち薬品費)	110,705	6.1	12.5	9.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	182,961	10.0	10.9	8.1
減価償却費	185,582	10.1	9.3	10.1
経費	828,795	45.3	23.1	30.4
(うち委託料)	278,646	15.2	11.1	12.5
研究研修費	6,847			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	43,395			
(うち支払利息)	41,433	2.3	1.8	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-79,784			
純損益	-79,784			
累積欠損金	720,971			
経常収支比率	96.7		97.9	96.4
医業収支比率	77.8		88.4	83.6
他会計繰入金対経常収益比率	28.1		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	35.5		14.4	19.0
他会計繰入金対総収益比率	28.1		12.4	15.8
実質収益対経常費用比率	69.5		85.8	81.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	3,152,325
1 固定資産	2,549,973
(1) 有形固定資産	2,549,973
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	602,352
(1) 現金及び預金	309,472
(2) 未収金及び未収収益	261,683
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	31,197
3 繰延資産	-
負債合計	2,839,425
1 固定負債	1,801,841
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,776,839
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	25,002
(7) リース債務	-
2 流動負債	287,053
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	111,410
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	66,231
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	109,412
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	750,531
(1) 長期前受金	1,490,077
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	739,546
資本合計	312,900
1 資本金	525,143
2 剰余金	-212,243
(1) 資本金剰余金	505,428
(2) 利益剰余金	-717,671
負債・資本合計	3,152,325
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	653,108	650,000
資本勘定繰入	51,536	80,000
計	704,644	730,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	39.4
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	辰野町
	病院名	辰野病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	9,882 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	8	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	100	77.3	74.8	69.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	77.3	74.8	69.4
平均在院日数(一般病床のみ)		24.6	24.6	22.7

設立団体の状況		
人口(人)	19,770	
決算規模(千円)	8,749,735	
標準財政規模(千円)	5,664,989	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	82.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	24.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.5
修正医業収支金額(千円)	1,543,110

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,168,243			
1 経常収益	2,090,430			
(1) 医業収益	1,618,110			
入院収益	802,488			
外来収益	674,764			
診療収入計	1,477,252			
その他医業収益	140,858			
(うち他会計負担金)	75,000			
(2) 医業外収益	472,320			
(うち国・都道府県補助金)	1,615			
(うち他会計補助・負担金)	297,456			
(うち長期前受金戻入)	40,163			
(うち資本費繰入収益)	121,744			
(3) 特別利益	77,813			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,233,244			
2 経常費用	2,155,431			
(1) 医業費用	2,098,358			
職員給与費	1,125,857	69.6	56.1	60.1
材料費	279,367	17.3	23.9	18.1
(うち薬品費)	153,690	9.5	12.5	9.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	108,661	6.7	10.9	8.1
減価償却費	241,338	14.9	9.3	10.1
経費	447,336	27.6	23.1	30.4
(うち委託料)	245,249	15.2	11.1	12.5
研究研修費	4,121			
資産減耗費	339			
(2) 医業外費用	57,073			
(うち支払利息)	6,962	0.4	1.8	1.9
(3) 特別損失	77,813			
損益				
経常損益	-65,001			
純損益	-65,001			
累積欠損金	58,016			
経常収支比率	97.0		97.9	96.4
医業収支比率	77.1		88.4	83.6
他会計繰入金対経常収益比率	17.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	23.0		14.4	19.0
他会計繰入金対総収益比率	17.2		12.4	15.8
実質収益対経常費用比率	79.7		85.8	81.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,573,312
1 固定資産	3,323,389
(1) 有形固定資産	3,243,613
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	79,776
2 流動資産	249,923
(1) 現金及び預金	17,841
(2) 未収金及び未収収益	214,562
(3) 貸倒引当金()	2,000
(4) 貯蔵品	18,374
3 繰延資産	-
負債合計	3,108,450
1 固定負債	2,019,621
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,019,621
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	416,945
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	203,234
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,460
(6) リース債務	8,089
(7) 一時借入金	50,000
(8) 未払金及び未払費用	91,140
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	671,884
(1) 長期前受金	774,824
(2) 長期前受金収益化累計額()	102,940
資本合計	464,862
1 資本金	522,878
2 剰余金	-58,016
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-58,016
負債・資本合計	3,573,312
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	368,914	372,456
資本勘定繰入	124,819	131,744
計	493,733	504,200

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	信濃町
	病院名	信越病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	5,064 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	8	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	49	52.9	57.3	60.3
療養	50	83.9	91.0	91.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	68.6	74.3	76.3
平均在院日数(一般病床のみ)		19.0	15.1	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	8,469	
決算規模(千円)	5,968,679	
標準財政規模(千円)	3,641,980	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	90.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	26.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	70.7
修正医業収支金額(千円)	963,217

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,320,557			
1 経常収益	1,320,557			
(1) 医業収益	1,055,664			
入院収益	517,837			
外来収益	398,779			
診療収入計	916,616			
その他医業収益	139,048			
(うち他会計負担金)	92,447			
(2) 医業外収益	264,893			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	213,374			
(うち長期前受金戻入)	39,883			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,403,284			
2 経常費用	1,403,284			
(1) 医業費用	1,361,808			
職員給与費	746,586	70.7	56.1	68.5
材料費	176,995	16.8	23.9	17.7
(うち薬品費)	101,263	9.6	12.5	11.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	57,807	5.5	10.9	5.7
減価償却費	88,824	8.4	9.3	12.1
経費	346,016	32.8	23.1	32.0
(うち委託料)	121,366	11.5	11.1	12.2
研究研修費	2,688			
資産減耗費	699			
(2) 医業外費用	41,476			
(うち支払利息)	5,404	0.5	1.8	2.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-82,727			
純損益	-82,727			
累積欠損金	1,037,469			
経常収支比率	94.1		97.9	98.1
医業収支比率	77.5		88.4	76.4
他会計繰入金対経常収益比率	23.2		12.3	23.1
他会計繰入金対医業収益比率	29.0		14.4	31.6
他会計繰入金対総収益比率	23.2		12.4	23.5
実質収益対経常費用比率	72.3		85.8	75.4

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,181,723
1 固定資産	727,261
(1) 有形固定資産	725,315
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	1,800
2 流動資産	454,462
(1) 現金及び預金	146,628
(2) 未収金及び未収収益	301,613
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	6,221
3 繰延資産	-
負債合計	1,113,059
1 固定負債	783,031
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	403,300
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	374,478
(7) リース債務	5,253
2 流動負債	192,155
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	69,811
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	47,821
(6) リース債務	7,626
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	66,815
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	137,873
(1) 長期前受金	283,880
(2) 長期前受金収益化累計額()	146,007
資本合計	68,664
1 資本金	1,072,382
2 剰余金	-1,003,718
(1) 資本金剰余金	33,751
(2) 利益剰余金	-1,037,469
負債・資本合計	1,181,723
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	305,821	305,821
資本勘定繰入	45,074	45,345
計	350,895	351,166

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	98.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	飯綱町
				病院名	飯綱町立飯綱病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	11,246 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	15	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	110	77.2	74.6	74.9
療養	51	77.4	80.5	81.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	161	77.3	76.5	77.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.7	19.0	18.2

設立団体の状況		
人口(人)	11,063	
決算規模(千円)	7,060,998	
標準財政規模(千円)	4,804,569	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	84.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,179,493			
1 経常収益	2,179,493			
(1) 医業収益	1,883,884			
入院収益	1,071,065			
外来収益	695,401			
診療収入計	1,766,466			
その他医業収益	117,418			
(うち他会計負担金)	30,269			
(2) 医業外収益	295,609			
(うち国・都道府県補助金)	725			
(うち他会計補助・負担金)	73,926			
(うち長期前受金戻入)	209,888			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,194,477			
2 経常費用	2,194,477			
(1) 医業費用	2,086,943			
職員給与費	987,339	52.4	56.1	60.1
材料費	276,649	14.7	23.9	18.1
(うち薬品費)	133,044	7.1	12.5	9.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	115,300	6.1	10.9	8.1
減価償却費	244,679	13.0	9.3	10.1
経費	574,475	30.5	23.1	30.4
(うち委託料)	214,214	11.4	11.1	12.5
研究研修費	3,484			
資産減耗費	317			
(2) 医業外費用	107,534			
(うち支払利息)	42,246	2.2	1.8	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-14,984			
純損益	-14,984			
累積欠損金	437,526			
経常収支比率	99.3		97.9	96.4
医業収支比率	90.3		88.4	83.6
他会計繰入金対経常収益比率	4.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	5.5		14.4	19.0
他会計繰入金対総収益比率	4.8		12.4	15.8
実質収益対経常費用比率	94.6		85.8	81.4

備考：「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,803,930
1 固定資産	2,079,254
(1) 有形固定資産	2,020,892
(2) 無形固定資産	400
(3) 投資その他の資産	57,962
2 流動資産	724,676
(1) 現金及び預金	415,730
(2) 未収金及び未収収益	277,255
(3) 貸倒引当金()	604
(4) 貯蔵品	30,282
3 繰延資産	-
負債合計	3,205,431
1 固定負債	2,476,006
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,178,638
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	297,368
(7) リース債務	-
2 流動負債	450,947
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	254,078
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	71,313
(6) リース債務	20,180
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	97,622
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	278,478
(1) 長期前受金	1,405,008
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,126,530
資本合計	-401,501
1 資本金	14,932
2 剰余金	-416,433
(1) 資本金剰余金	21,093
(2) 利益剰余金	-437,526
負債・資本合計	2,803,930
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	401,501
資本不足額(繰延収益控除後)()	123,023
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.8
修正医業収支金額(千円)	1,853,615

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	183,533	104,195
資本勘定繰入	142,726	240,805
計	326,259	345,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	伊那中央行政組合(事業会計分)
	病院名	伊那中央病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	34,467 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪
診療科数	29	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	390	84.1	80.9	83.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	394	83.3	80.1	82.4
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	12.1	12.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	97.0
修正医業収支金額(千円)	10,909,746

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,773,222			
1 経常収益	11,773,222			
(1) 医業収益	11,208,399			
入院収益	7,687,256			
外来収益	2,735,750			
診療収入計	10,423,006			
その他医業収益	785,393			
(うち他会計負担金)	298,653			
(2) 医業外収益	564,823			
(うち国・都道府県補助金)	34,426			
(うち他会計補助・負担金)	395,561			
(うち長期前受金戻入)	72,628			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,768,691			
2 経常費用	11,768,215			
(1) 医業費用	11,243,290			
職員給与費	6,534,618	58.3	56.1	56.5
材料費	2,460,236	21.9	23.9	24.1
(うち薬品費)	1,143,860	10.2	12.5	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,233,006	11.0	10.9	11.4
減価償却費	872,925	7.8	9.3	9.1
経費	1,314,672	11.7	23.1	21.6
(うち委託料)	699,727	6.2	11.1	10.6
研究研修費	49,131			
資産減耗費	11,708			
(2) 医業外費用	524,925			
(うち支払利息)	61,567	0.5	1.8	2.0
(3) 特別損失	476			
損益				
経常損益	5,007			
純損益	4,531			
累積欠損金	397,608			
経常収支比率	100.0		97.9	96.7
医業収支比率	99.7		88.4	89.3
他会計繰入金対経常収益比率	5.9		12.3	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	6.2		14.4	12.6
他会計繰入金対総収益比率	5.9		12.4	11.0
実質収益対経常費用比率	94.1		85.8	86.1

備考:
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,082,208
1 固定資産	19,530,166
(1) 有形固定資産	15,476,951
(2) 無形固定資産	1,269
(3) 投資その他の資産	4,051,946
2 流動資産	4,549,642
(1) 現金及び預金	2,743,619
(2) 未収金及び未収収益	1,755,859
(3) 貸倒引当金()	2,768
(4) 貯蔵品	52,536
3 繰延資産	2,400
負債合計	14,763,074
1 固定負債	11,377,455
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,748,968
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,628,487
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,738,980
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,547,318
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	361,162
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	602,427
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	646,639
(1) 長期前受金	1,039,689
(2) 長期前受金収益化累計額()	393,050
資本合計	9,319,134
1 資本金	9,716,742
2 剰余金	-397,608
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-397,608
負債・資本合計	24,082,208
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	712,347	694,214
資本勘定繰入	836,168	836,168
計	1,548,515	1,530,382

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	伊南行政組合
				病院名	昭和伊南総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,682 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	18	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	300	65.6	61.4	58.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	65.6	61.4	58.3
平均在院日数（一般病床のみ）		15.0	15.5	15.1

設立団体の状況		
人口（人）	-	
決算規模（千円）	340,221	
標準財政規模（千円）	-	
財政力指数	-	
経常収支比率（%）	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	-
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	93.8
修正医業収支金額（千円）	5,661,149

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,593,923			
1 経常収益	6,593,123			
(1) 医業収益	5,835,860			
入院収益	3,649,955			
外来収益	1,610,424			
診療収入計	5,260,379			
その他医業収益	575,481			
(うち他会計負担金)	174,711			
(2) 医業外収益	757,263			
(うち国・都道府県補助金)	13,849			
(うち他会計補助・負担金)	489,638			
(うち長期前受金戻入)	236,836			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	800			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,355,855			
2 経常費用	6,076,855			
(1) 医業費用	6,035,043			
職員給与費	3,406,831	58.4	56.1	56.5
材料費	1,320,429	22.6	23.9	24.1
(うち薬品費)	786,624	13.5	12.5	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	487,055	8.3	10.9	11.4
減価償却費	384,596	6.6	9.3	9.1
経費	903,862	15.5	23.1	21.6
(うち委託料)	466,624	8.0	11.1	10.6
研究研修費	13,859			
資産減耗費	5,466			
(2) 医業外費用	41,812			
(うち支払利息)	14,190	0.2	1.8	2.0
(3) 特別損失	279,000			
損益				
経常損益	516,268			
純損益	238,068			
累積欠損金	-			
経常収支比率	108.5		97.9	96.7
医業収支比率	96.7		88.4	89.3
他会計繰入金対経常収益比率	10.1		12.3	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	11.4		14.4	12.6
他会計繰入金対総収益比率	10.1		12.4	11.0
実質収益対経常費用比率	97.6		85.8	86.1

備考：
「類似平均」については経営規模別区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	6,395,824
1 固定資産	3,299,544
(1) 有形固定資産	3,246,245
(2) 無形固定資産	1,487
(3) 投資その他の資産	51,812
2 流動資産	3,096,280
(1) 現金及び預金	2,056,914
(2) 未収金及び未収収益	993,981
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	45,385
3 繰延資産	-
負債合計	4,135,424
1 固定負債	2,514,495
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,291,074
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,223,421
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,036,587
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	281,272
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	181,757
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	547,448
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	584,342
(1) 長期前受金	3,649,459
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	3,065,117
資本合計	2,260,400
1 資本金	35,118
2 剰余金	2,225,282
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	2,225,282
負債・資本合計	6,395,824
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	527,355	664,349
資本勘定繰入	157,035	162,035
計	684,390	826,384

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28 年度)				都道府県名	長野県
				市町村・組合名	諏訪中央病院組合
				病院名	組合立諏訪中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	32,473 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	21	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象				

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	324	87.1	85.4	88.0
療養	36	94.5	85.8	84.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	360	87.9	85.5	87.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.6	13.7	14.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.3
修正医業収支金額(千円)	8,448,652

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,894,593			
1 経常収益	8,894,593			
(1) 医業収益	8,457,132			
入院収益	5,307,946			
外来収益	2,721,803			
診療収入計	8,029,749			
その他医業収益	427,383			
(うち他会計負担金)	8,480			
(2) 医業外収益	437,461			
(うち国・都道府県補助金)	17,933			
(うち他会計補助・負担金)	39,969			
(うち長期前受金戻入)	33,854			
(うち資本費繰入収益)	137,899			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,539,549			
2 経常費用	9,529,421			
(1) 医業費用	8,777,796			
職員給与費	5,079,375	60.1	56.1	56.5
材料費	1,822,584	21.6	23.9	24.1
(うち薬品費)	876,603	10.4	12.5	12.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	864,895	10.2	10.9	11.4
減価償却費	423,529	5.0	9.3	9.1
経費	1,405,338	16.6	23.1	21.6
(うち委託料)	511,427	6.0	11.1	10.6
研究研修費	38,794			
資産減耗費	8,176			
(2) 医業外費用	751,625			
(うち支払利息)	65,212	0.8	1.8	2.0
(3) 特別損失	10,128			
損益				
経常損益	-634,828			
純損益	-644,956			
累積欠損金	956,064			
経常収支比率	93.3		97.9	96.7
医業収支比率	96.3		88.4	89.3
他会計繰入金対経常収益比率	0.5		12.3	11.0
他会計繰入金対医業収益比率	0.6		14.4	12.6
他会計繰入金対総収益比率	0.5		12.4	11.0
実質収益対経常費用比率	92.8		85.8	86.1

備考：
「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	15,108,201
1 固定資産	12,696,003
(1) 有形固定資産	12,490,526
(2) 無形固定資産	1,899
(3) 投資その他の資産	203,578
2 流動資産	2,412,198
(1) 現金及び預金	986,823
(2) 未収金及び未収収益	1,399,845
(3) 貸倒引当金()	5,389
(4) 貯蔵品	30,919
3 繰延資産	-
負債合計	12,724,254
1 固定負債	10,298,298
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,469,193
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,792,703
(7) リース債務	36,402
2 流動負債	2,059,142
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	289,765
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	249,388
(6) リース債務	23,602
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,454,163
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	366,814
(1) 長期前受金	580,114
(2) 長期前受金収益化累計額()	213,300
資本合計	2,383,947
1 資本金	3,262,684
2 剰余金	-878,737
(1) 資本剰余金	77,327
(2) 利益剰余金	-956,064
負債・資本合計	15,108,201
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	163,734	48,449
資本勘定繰入	249,824	237,899
計	413,558	286,348

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	11.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (28年度)	都道府県名	長野県
	市町村・組合名	依田窪医療福祉事務組合
	病院名	国保依田窪病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	13,027 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	15	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	28年度	27年度	26年度
一般	140	74.7	68.6	73.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	74.7	68.6	73.7
平均在院日数(一般病床のみ)		19.8	17.9	19.4

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	27,387	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.4
修正医業収支金額(千円)	2,561,042

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,100,110			
1 経常収益	3,100,110			
(1) 医業収益	2,636,103			
入院収益	1,775,026			
外来収益	641,011			
診療収入計	2,416,037			
その他医業収益	220,066			
(うち他会計負担金)	75,061			
(2) 医業外収益	464,007			
(うち国・都道府県補助金)	4,377			
(うち他会計補助・負担金)	396,626			
(うち長期前受金戻入)	28,457			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,938,170			
2 経常費用	2,935,673			
(1) 医業費用	2,800,659			
職員給与費	1,325,754	50.3	56.1	60.1
材料費	454,009	17.2	23.9	18.1
(うち薬品費)	154,255	5.9	12.5	9.4
(うち薬品費以外の医薬材料費)	275,450	10.4	10.9	8.1
減価償却費	237,680	9.0	9.3	10.1
経費	777,584	29.5	23.1	30.4
(うち委託料)	164,604	6.2	11.1	12.5
研究研修費	5,632			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	135,014			
(うち支払利息)	42,451	1.6	1.8	1.9
(3) 特別損失	2,497			
損益				
経常損益	164,437			
純損益	161,940			
累積欠損金	1,564,891			
経常収支比率	105.6		97.9	96.4
医業収支比率	94.1		88.4	83.6
他会計繰入金対経常収益比率	15.2		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	17.9		14.4	19.0
他会計繰入金対総収益比率	15.2		12.4	15.8
実質収益対経常費用比率	89.5		85.8	81.4

備考：
 「類似平均」については経営規模別区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,098,029
1 固定資産	3,285,183
(1) 有形固定資産	3,191,386
(2) 無形固定資産	568
(3) 投資その他の資産	93,229
2 流動資産	812,846
(1) 現金及び預金	342,916
(2) 未収金及び未収収益	433,583
(3) 貸倒引当金()	1,054
(4) 貯蔵品	31,942
3 繰延資産	-
負債合計	2,754,374
1 固定負債	2,504,939
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,308,399
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	46,733
(7) リース債務	6,031
2 流動負債	249,435
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	85,606
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	160,649
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	1,343,655
1 資本金	88,558
2 剰余金	1,255,097
(1) 資本金剰余金	2,819,988
(2) 利益剰余金	-1,564,891
負債・資本合計	4,098,029
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	314,061	471,687
資本勘定繰入	173,358	173,358
計	487,419	645,045

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
28年度	-	-
27年度	-	-
26年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	59.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。